

### Ⅲ 神奈川県公立高等学校の海外帰国生徒特別募集実施校の紹介



かながわそうごう  
神奈川県立 神奈川総合高等学校



〈 学校案内図 〉

利用交通機関

- 東急東横線 東白楽駅より徒歩 3分
- JR 京浜東北線 東神奈川駅より徒歩 8分
- 京浜急行線 仲木戸駅より徒歩 10分

所在地：横浜市神奈川区平川町 19-2

電話：(045) 491-2000

FAX：(045) 491-3190

URL：http://www.kanagawasohgoh-h.pen-kanagawa.ed.jp/

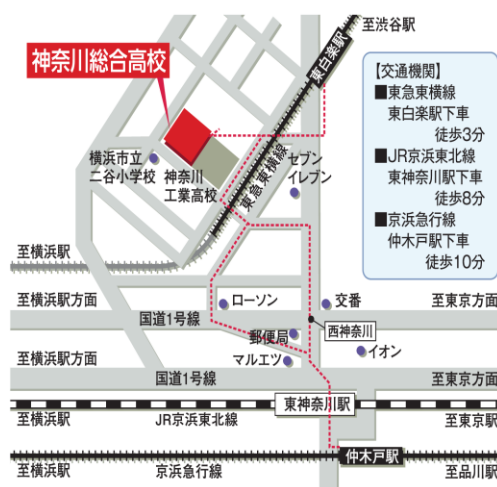
創立：平成 6(1994)年 10月【平成 7(1995)年 4月開校】

課程：単位制による全日制普通科

設置学科・生徒数・学級数

	1年	2年	3年	計
個性化コース	160	158	144	462
国際文化コース	100	104	115	319
学級数	7	7	7	21

(生徒数、学級数については平成 30(2018)年 5月 1日現在)



#### (1) 学校の特徴

神奈川県で初の単位制による全日制の課程普通科高等学校として平成 7(1995)年 4月に開校しました。単位制では、1学年や2学年といった学年制をとらず、74単位以上を修得して卒業となります。募集定員(平成 30(2018)年度)は「国際文化コース」119人、「個性化コース」159人の計 278人です。なお、「国際文化コース」119人の内、10人は前期海外帰国生徒特別募集(4月入学)、20人が後期募集(10月入学)です。

学校教育目標として「生徒一人ひとりの個性の伸長を図り、主体的に学び、国際社会の中で共に生き、共に育つ高い人格と心豊かな感性を備えた人間を育成する。」を掲げて、生徒主体の教育を推進しています。年 2回の入学者選抜(2月と7月)を実施し、前期・後期の二学期制を導入して教育制度の異なる海外から帰国するみなさんが入学しやすい仕組みを設定しています。

学校行事には、新入生のデイキャンプ、スポーツ大会(体育祭)、翔鷗祭(文化祭)、テーマ研究発表会、生徒が企画・立案から運営まですべて行う「環境シンポジウム」、研修旅行(修学旅行)などがあります。研修旅行は体験学習を中心とし 6つの方面(津別、高島、松川、関西、屋久島、台湾)から選択します。また、アメリカ・中国・フランス・イギリス・スペイン・韓国・ドイツのパートナー校(姉妹校)交流も実施しています。

また、部活動も生徒が主体になって盛んに行われています。体育系や文化系の様々な分野で活躍して

いる生徒が多くいます。昨年度も放送部や吹奏楽部が全国大会や関東大会に出場しました。

校舎は 10 階建ての中央棟と 4 階建ての体育館棟からなり、全学習室が冷暖房完備です。県立神奈川工業高等学校と同一敷地内にあり、温水プールと食堂、図書館が共用施設となっています。本校独自のものとして、本格的な照明設備や音響設備の整った多目的ホール、マルチメディア学習室（3 部屋）、LL 学習室（2 部屋）、トレーニングルーム、屋内弓道場、ガイダンスルーム、カウンセリングルーム等々、多様な教育活動が展開できる充実した施設・設備が整っています。

平成 28(2016)年度から神奈川県教育委員会より「グローバル教育研究推進校」に指定されています。

## (2) 教育課程

本校には、「国際文化コース」と「個性化コース」の 2 つのコースがあります。

- 「国際文化コース」は、語学に関する科目の学習に重点を置くと共に、多文化理解や国際的な課題や状況についての理解につながる科目もあります。さらに英語以外にドイツ語・フランス語・中国語・ハンガール・スペイン語の第二外国語が学習でき、国際理解を深める科目も学習できます。
- 「個性化コース」は、個性に応じた分野の学習ができるよう、多様な選択科目を設け、個性を伸ばす教育活動に取り組んでいます。「芸術」「スポーツ」「生活科学」「自然科学」「生活・看護」などについての学習もできます。

本校の学習の大きな特色として「テーマ学習」、「テーマ研究」があります。これは大学における卒業研究や卒業論文に相当するもので、特に 3 年次生は自分で決め、3 年にわたり取り組んできた「テーマ研究」の成果を、2 日間かけて全員がプレゼンテーションします。1 年次生と 2 年次生は自分のテーマと関連するような発表を見学します。優れた発表も多く、発表を基に外部のコンクールに参加し入賞する生徒もいます。

授業は 9 時に始まり、1 日 4 時限（1 時限 90 分）です。生徒は 150 を超える多様な科目から自分の興味関心や適性、進路に合わせて科目を選び、自分に合った時間割を作成します。また、通年や半期の履修科目以外にも「キャンプ」と「スキー」といった長期休業中に実施される集中講座や、洗足学園音楽大学や横浜国立大学等と連携している大学の講座を受講し単位として認定をすることもできます。

## (3) 海外帰国生徒の学習

海外帰国生徒は「国際文化コース」に所属します。授業は小集団学習を基本とし、今年度は「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「コミュニケーション英語Ⅰ」「コミュニケーション英語Ⅱ」で習熟度別学習が行われています。また、「コミュニケーション・スキルズ」では、ネイティブ・スピーカーの先生のみで担当するクラスがあります。さらに、英語上級者用に英語による発信力を高める「日本文化紹介」「プレゼンテーション」「グローバル学習」、そして国際理解のための「国際関係論」「文化人類学」といった特色ある講座も開講しています。

「国際文化コース」では、原則としてネイティブ・スピーカーの先生も担当する「ドイツ語」「フランス語」「ハンガール」「中国語」「スペイン語」の第二外国語を選択します。また、海外において日本の高校に相当する教育機関で学習されていた生徒に対して、その学習時間等に応じて単位認定を行っています。平成 30(2018)年 5 月現在、48 名の海外帰国生徒が在籍しています。

## (4) 海外帰国生徒の卒業後の進路

生徒は、一人ひとりが目的意識を持って進路選択を行っています。大学へ進む生徒がほとんどですが、海外の大学に進む生徒を含め、様々な分野に進学しています。主な進学先は北海道大学、横浜国立大学、首都大学東京、明治大学、青山学院大学、上智大学、慶應義塾大学などです。